

呉心臓センター ニュース

2013年
2月号

National Hospital Organization Kure Medical Center Kure HEART Center

脳梗塞の原因が心臓病??

脳梗塞(のうこうそく)は、脳の動脈に血栓(血のかたまり)などが詰まって血流がとだえ、脳細胞が壊死(死亡)する病気です(図1)。体半身の麻痺、しびれ、感覚の低下、手足の運動障害、言語障害、意識障害などが突然みられます。通常は後遺症を残すことになり、部位によってはただちに死亡することもある大変怖い病気です。脳梗塞(脳血管障害)はがん、心臓病について死因の第3位です。食生活の欧米化に伴い増加しています。**脳梗塞のリスクとして60歳以上、脳卒中の家族歴、動脈硬化、高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病、喫煙、大量飲酒、ストレス**などが上げられます。



図1. 脳梗塞のMRI像

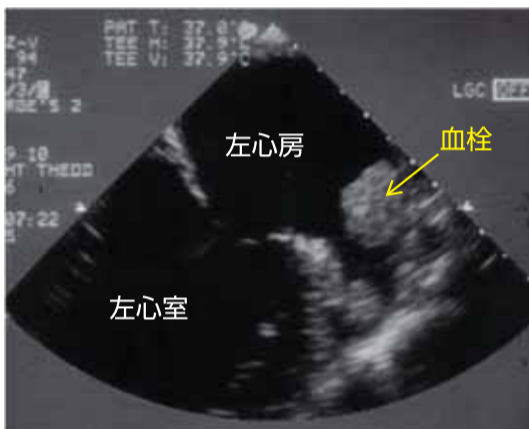


図2. エコーで見た左心房の血栓

- 脳梗塞の原因は
- 1) 脳の小さな動脈が詰まるラクナ梗塞
 - 2) 脳の大きな動脈が詰まるアテローム血栓性脳梗塞
 - 3) 心臓病が原因で起こる心原性脳塞栓症

の3つに分けられます。特に注目したいのは3)の心原性脳塞栓症で、脳梗塞の約2割から3割を占めます。すなわち**脳梗塞の約2割は心臓病が原因で起こる**のです。これは心臓弁膜症、急性心筋梗塞、不整脈などの病気の際に心臓の中に血栓ができ、脳へ飛ぶために起こります(図2、3)。このタイプの脳梗塞は非常に重症なことが多く、最近ではプロ野球の監督やサッカー日本代表の外人監督さんもこのタイプの脳梗塞で倒れました。



図3. 心臓内より摘出した血栓

脳梗塞の原因として最も重要なのは**「心房細動」**という不整脈です。これは高血圧や狭心症、心筋梗塞、弁膜症などの一般的な心臓病に合併してよく見られるタイプの不整脈です。心房の正常な拍動ができなくなり、不規則に細かくふるえて

「けいれん」した様な状態となるため心臓内の血液が停滞して血栓ができやすい状態となります。したがって心房細動の患者さんは血液をサラサラにするお薬を服用して血栓ができにくい状態にする必要があります。ただしお薬を飲み忘れてたりすると血栓ができたり、また効きすぎると出血などの副作用がでる場合もあります。

当院では10年以上前から**心房細動に対する根治術(メイズ手術)**を行っており、たくさんの心房細動の患者様を治療しています。これにより心臓病で血栓のリスクの高い患者さんでも脳梗塞のリスクを減らすことができます(図4)。

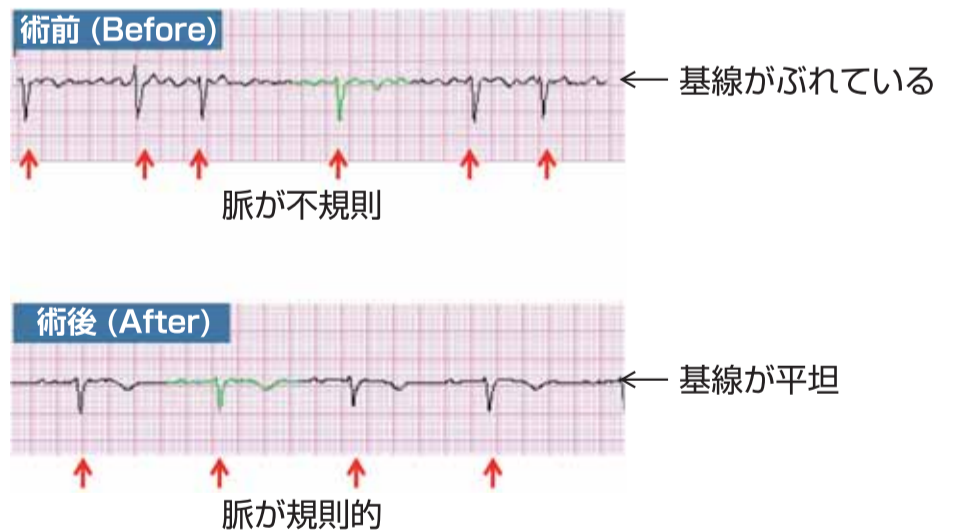


図4. メイズ手術前後の心電図

「心房細動」と診断されたらすぐに循環器専門医へ相談してください。

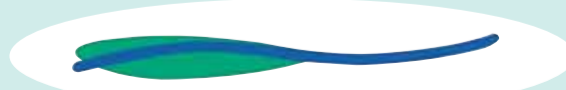
胸部の聴診、心電図などで見つかります。60歳以上の生活習慣病や心臓病をお持ちの方は年1回検査を受けるようにしましょう。

問い合わせ先

〒737-0023 広島県呉市青山町3番1号
独立行政法人国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター 地域医療連携室

TEL (0823)22-3111 ホームページ <http://www.kure-nh.go.jp/>



当院のロゴマークは「なだらかな海」と「爽やかな風」の自然な調和を表現しております。

